

令和4年度PTA等指導者人権教育研修会

- 1 趣 旨 「第5次岡山県人権政策推進指針」等を踏まえ、「第4次岡山県人権教育推進プラン」に基づき、様々な人権問題の解決に向けて、人権問題についての理解と認識を深め、人権意識の高揚を図るための研修を行い、指導者としての資質の向上を図る。
- 2 主 催 岡山県教育委員会
- 3 日 時 令和4年8月26日（金）9:30～12:00
- 4 方 法 Web会議システム「Zoom」を活用したリモート開催
- 5 参加者 幼稚園・こども園・小学校・中学校・中等教育学校のPTA役員及び一般会員 等
- 6 日 程
- 9:00～ 9:30 受付
 - 9:30～ 9:40 開 会
 - 9:40～ 9:55 【行政説明】
 - 9:55～11:25 【講演・ワークショップ】
- 「子ども理解とこれからの子育てのヒント」
- 講 師 常磐大学人間科学部心理学科 教授 秋山 邦久 氏
- 11:25～11:35 休 憩
 - 11:35～11:55 【感想・情報交流】
 - 11:55～12:00 閉 会

【行政説明】

「人権教育の推進

～子どもの人権を守るために～

- 1 児童虐待防止について
 - ・児童虐待の種類
 - ・虐待が与える深刻な影響
- 2 自殺予防教育について
 - ・自殺に傾く子どもの心理
 - ・私たち大人にできること
- 3 生命(いのち)の安全教育について
 - ・学校園での指導事例等

悩みを抱える子どもたちへの関わり方

- ① 子どもたちのSOSに気付く！
- ② 自己肯定感の育成！
(一緒に過ごす、会話する、認める等)
- ③ 聴く！寄り添う！
- ④ 相談する！（学校、相談窓口）



「子どものSOSに気がつきましょう」
(県教委リーフレット「子どもとつながっていますか」より)



学習には、ご褒美が必要

周囲の適切な「ほめ方」がご褒美に

- ① スキンシップ（他人はやらない）
- ② 質問で
- ③ プロセスを
- ④ 噂で（魔法の三角形）
- ⑤ 感動を（3S+a）
- ⑥ 感謝を伝える



【講演・ワークショップ】～【感想・情報交流】

【講演・ワークショップ】

「子ども理解とこれからの子育てのヒント」

- ・コミュニケーションとは ・文脈合わせの必要性
- ・監視と観察 ・子どもの心の発達と大人の関わり
- ・誤学習か未学習かの見立てと対応
- ・適切な「注意」の仕方 ・行動と環境（状況・背景）
- ・乳児期の発達課題 ・自己決定のしつけを学童期から
- ・現代社会での思春期対応 等

乳児期から思春期までの子どもの発達に関して、課題や対応の仕方について、事例とともに、わかりやすくお話いただきました。将来を見通した子育てについて、多くの学びを得ました。

【講師】

常磐大学人間科学部心理学科
教授 秋山 邦久 氏



【感想・情報交流】

- 研修会をとおして、「新たに気付いたこと」&「再確認した大切なこと」
 - 各学校園でのPTAの具体的な取組、これからの活動計画 等
- ブレイクアウトルームに分かれ、4～5人で交流しました。他市町村や学校園等、それぞれエリアや立場を越えて、活発に情報交換ができました。

《感想》

- ・親としての子どもへの関わり方について、見直すきっかけになりましたし、とても勉強になりました。
- ・「ほめる」ことの大切さを再確認し、また、適切な「注意」の仕方があることを新たに知ることができました。
- ・子どもへの虐待について、今とても厳しい実態があることを知りました。子どもの人権を尊重し、親も一緒に学ぶことが大切だということ改めて感じました。
- ・「発達を点ではなく線で見ると」ということや、発達段階に応じた「子育てのヒント」をたくさんいただきました。
- ・子どもを「観察」することを意識し、子どもの良いところや変化にも気が付けるようにしたいです。
- ・参加者同士の交流では、悩みを共有できて安心しました。自分とは違う考えを知り、子育てに役立てたいです。
- ・Zoom開催で不安でしたが、しっかりお話を聞くことができ、他校のPTA役員の方とも情報交流ができました。